

令和4年度第1回多治見市男女共同参画推進審議会

議 事 要 旨

I. 開催日時 令和4年5月24日（火）15時～17時

II. 場所 子ども情報センター2階 研修室

III. 出席者（敬称略）

＜出席委員＞ 古川芳子、中村奈津子、岩下英治、河人宗寿、佐藤大介、土本雄司、
長谷川邦代、原健二、横山幸子、吉田淑恵、梅村千恵美（11名）

＜欠席委員＞ 守屋ひと美（1名）

＜事務局＞ 環境文化部長：伊藤徳朗、くらし人権課長：加藤直美
くらし人権課：今井光春、遠藤智子

IV. 内容

・はじめに
環境文化部長あいさつ
事務局紹介
委員自己紹介
会長、副会長の選任

【議題】

- 1 第9期スケジュールについて
- 2 第3次たじみ男女共同参画プラン実施事業の評価・検証について
- 3 令和3年度市民意識調査の結果について
- 4 第3次たじみ男女共同参画プラン後期計画策定スケジュールについて
- 5 その他
 - （1）企業アンケートの進捗状況について
 - （2）第2回審議会の開催について
 - （3）男女共同参画職員研修会の開催について

【資料】

資料1：第9期多治見市男女共同参画推進審議会スケジュール（案）
資料2：令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査の結果について（報告）
資料3－1：令和3年度第3次たじみ男女共同参画プラン実施事業の評価・検証について
資料3－2：令和3年度第3次たじみ男女共同参画プラン各課事業一覧
資料4：第3次たじみ男女共同参画プラン後期計画策定スケジュール
別紙：令和3年度第3次たじみ男女共同参画プランの進捗状況確認票（施策ごと）
冊子：多治見市男女共同参画に関する市民意識調査【結果報告書】
リーフレット：男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書＜ダイジェスト版＞
男女共同参画職員研修会の開催について

V. 議事要旨

○はじめに

会議及び議事録の公開、会議の録音について（事務局説明）

環境文化部長挨拶

事務局紹介

委員自己紹介

会長及び副会長の選出

会 長 古川芳子委員

副会長 中村奈津子委員

—承認—

【議題】

1. 第9期スケジュールについて

事務局（説明…資料1）

会 長 質問、意見はあるか。

（意見なし）

会 長 このスケジュールで進めることとする。

2. 第3次たじみ男女共同参画プラン実施事業の評価・検証について

事務局（説明：目標Ⅰ・Ⅱの事業について…資料3-1、3-2、別紙）

会 長 質問、意見はあるか。

委 員 市民意識調査の結果で「家庭での役割分担の現状」を見ると、家庭での男性と女性の意識の差が大きい項目があり、男女共同参画を推進し、女性の職場での地位を向上させたり働く場を拡大したりしていく中で、家庭での問題を解消しないと女性の負担が大きくなるのではないかと心配している。

基本目標Ⅱ、施策13の事業「家庭における男女共同参画推進の啓発活動の充実」についてだが、評価が「B 計画どおり」で、評価票の各年度の課題として毎年度同じことが記載されている。課題に対して、翌年度具体的にどういった行動をし、その結果どうなったのか、という事であれば課題に変化があるはずである。評価票で前年度との違いが見えてくると、評価が「A 計画を上回った」になるのではないかと。各課はその点をどうとらえているのか。

事務局 ご指摘のとおりである。本計画は、各課の事業を男女共同参画の視点からまとめているが、各課事業に強く切り込めていないところがある。課題を解消するために取り組むのは当然であり、事務局から各課に働きかけていきたい。

委 員 課題への具体的な取り組みと結果、そして翌年度の取り組みへの手掛かりになるものが見えると、解決策を一緒に考えることも可能である。

会 長 全体にとって非常に大きな課題であり、継続してとらえるべき視点である。

事務局（説明：目標Ⅲ、プランの推進の事業について…資料3-1、3-2、別紙）

会 長 質問、意見はあるか。

- 委員 事業が多岐にわたっており、各々を丁寧に分析し次年度へつなげるのが難しい側面もあると感じた。効果やその翌年度に取り組みをどう変えていくかというところがもう少し具体的に記載されていると、その年度の評価がより具体的になる。
- 委員 毎年度、課題や展望があがるが、前年度の課題にどう対応したかの記載があると分かりやすい。その対応について、十分できたとか、こうしたら良かったとかいう評価の記載があると良い。
- 委員 平成 30 年度から令和 3 年度までの 4 年間、プランを推進し、多数の事業を実施している中で、効果や変化が目に見える形で現れているものはあるか。
- 事務局 女性委員がいない市の審議会等の数が「0」になることを目指して取り組んでいるが、各課に強く働きかけをし、令和 2 年度、令和 3 年度は「0」となった。課題に取り組んだ結果、目に見える形で現れた成果である。
- 会長 男女共同参画の計画に限らないが、行政も計画を予定通りにやったかどうかという基準から、具体的な成果を測るものさしを確認する必要がある。見えてきた課題に対して翌年度どうアプローチできるかを共有し、明確化することについて各委員から意見をいただいた。

3 令和 3 年度市民意識調査の結果について

- 事務局 (説明…資料 2、冊子、ダイジェスト版)
- 会長 質問、意見はあるか。
- 委員 家事、育児への男性の参画について、男性側は「やっている」と認識しているが、その夫婦の女性側に聞くと「全然やっていない」という認識で、差がある場合が多いと感じている。東京に出張した際、多くの父親が子どもを自転車の後ろに乗せ、保育園の送迎をしている光景を目にした。男性はテレワークできる仕事が充実して在宅で自由がきくが、女性はサービス業が多くテレワークできない人が多いためであると聞き驚いた。多治見の保育園では父親の送迎は多いか。
- 委員 結構いる。
- 委員 変わってきているとは思いますが、やはり男女の認識の違いは大きい。若い方々は男女二人で働く機会が増え、協力していかなければならないので、認識を縮めることができると良いと思う。
- 委員 市民意識調査の結果報告書について、今回の値しかないため、前回値と見比べられる資料だと良い。比較し、変化を見ることで傾向や必要なことが分かる。
出産前の夫婦に関わる事業をしているが、その際に、出産で我慢をしていることを聞くと、女性は、「仕事にブランクができる」、「お酒が飲めない」など色々意見が出るが、男性は「特になし」がほとんどである。これが悪いわけではなく、それを知った時に、意識改革が起こるので、お互いに思っていることを出し合う機会があると変わっていくと思う。男女が平等に意見を言える環境が家庭からできると良い。
- 委員 例えば、母親の体調が悪く家事などが滞った時に、どうしたらいいか、父親や子どもが考える機会ができるのではないかと思います。施策として、相手の立場を考える時間を意図的に作る、というのはどうか。家庭の中で相手が担っている部分が欠け

た時に、普段してもらっていることについて考えると思う。そのような時間を作らないと意識の差はなかなか埋まらない。

会 長 男女共同参画の施策をどのような角度から進めていくかという提案をいただいた。家庭の中で完結しなければならない、という絞めつけが強いが、近所の力を借りるなど SOS を出す力が必要で、周りの人と親がつながると子もつながり、一緒に生きる力が育つと考える。

4 第3次たじみ男女共同参画プラン後期計画策定スケジュールについて

事務局 (説明…資料4)

会 長 次回審議会でも考えていくが、それまでに各委員から前期計画についての課題を出していただきたい。

事務局 本日の議論により、各委員がさらに考えられたこともあると思う。追加で課題を寄せていただけるよう、後日各委員に依頼する。

5 その他

- (1) 企業アンケートの進捗状況について
- (2) 第2回審議会の開催について
- (3) 男女共同参画職員研修会の開催について

事務局 これをもって令和4年度第1回審議会を終了する。
(閉会)